

単元のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 野菜や果物, 自分が考えたメニューについて, 欲しいものを伝える表現に慣れ親しむ。<知識・技能> お客さんが喜ぶようなメニューをつくるために, 欲しいものを伝えている。<思考・判断・表現> お客さんが喜ぶようなメニューをつくるために, 欲しいものを伝えようとしている。<主体的に学習に取り組む態度>
言語材料	What do you want? / I want~,please. / How many? / (Two)~,please. 野菜 果物 食材 数 色 大きさ

時	1	2 (本時)	3	4
ねらい	世界の市場の様子がちがいや共通点に気付くとともに, 食材の言い方に慣れ親しむ。	ALT の好みに合った野菜や果物を選ぶ活動を通して, 欲しいものを伝える表現に慣れ親しむ。	お客さんが喜ぶようなオリジナルパフェをつくるために, 自分が欲しいものを伝える。	お客さんが喜ぶようなオリジナルピザをつくるために, 自分が欲しいものを伝える。
学習活動	1.Greeting 2.Song and Chants 「Yum, Yum, Yum!」 3.Small Talk ・ALT と JTE のやり取りから単元のゴールを知る。 南レストランの新メニューをつかって, お客さんを喜ばせよう。 4.Today's Goal いろいろな野菜や果物を言ってみよう。 5.Activity1 ALT: What do you see? S: Tomatoes, melons, PIZZA. 6.Activity2 ・【Let's Watch and Think】 世界の市場の様子を知る。 ・おはじきゲーム ・【Let's Chant】 「What do you want?」 7.Good Job Time ・世界にはさまざまな食材があることに気付けたこと, 野菜や果物を言うことができたことを振り返る。	1.Greeting 2.Song and Chants 「What do you want?」 3.Warm up ・クイズ 4.Today's Goal へみ先生に食べてほしいものをえらぼう。 5.Activity and Sharing Time ・ALT と JTE のやり取りを見て, 活動の見通しをもつ。 ・グループで欲しいものを相談したり, 言い方を練習したりする。 6.Challenge Time ・グループごとに教師のところへ行き, 一人ずつ欲しいものを伝える。 ALT(JTE): Hello. What do you want? S: I want apples, please. ALT(JTE): OK. How many apples? S: Two apples, please. ALT(JTE): I see. Two apples. Here you are. 7.Good Job Time ・ALT に喜んでもらえるものが選べたことを振り返る。	1.Greeting 2.Song and Chants 「What do you want?」 3.Small Talk JTE: What do you want? ALT: I want melons and ice creams. My parfait is "Melon Special"! 4.Today's Goal オリジナルパフェをつくろう。 5.Activity and Sharing Time ・【Let's Listen1】 ・「〇〇先生に食べてほしいパフェ」を考えて, 欲しいものを伝える。 6.Challenge Time ・客役と店員役に分かれてやり取りをする。 A: Hello. What do you want? B: I want strawberries, please. A: Strawberries, OK. How many strawberries? B: Three strawberries, please. A: OK. Three strawberries. Here you are. ・オリジナルパフェの名前とその理由を紹介する。 7.Good Job Time ・オリジナルパフェをつくり, レストランの新メニューが増えたことを振り返る。	1.Greeting 2.Song and Chants 「What do you want?」 3.Small Talk JTE: What do you want? ALT: I want tomatoes and cheese. My pizza is "Super cheese"! 4.Today's Goal オリジナルピザをつくろう。 5.Activity and Sharing Time ・【Let's Listen2】 ・「〇〇先生に食べてほしいピザ」を考えて, 欲しいものを伝える。 6.Challenge Time ・客役と店員役に分かれてやり取りをする。 A: Hello. What do you want? B: I want tomatoes, please. A: Tomatoes, OK. How many tomatoes? B: Two tomatoes, please. A: OK. Two tomatoes. Here you are. ・オリジナルピザの名前とその理由を紹介する。 7.Good Job Time ・オリジナルピザをつくり, レストランの新メニューが増えたことを振り返る。
評価規準	野菜や果物の言い方を理解している。(行動観察) <知・技>	自分が欲しい野菜や果物を伝えている。(行動観察・児童作品) <知・技>	オリジナルパフェをつくるために, どの果物や食材をいくつ欲しいのかを伝えている。(行動観察・児童作品) <思・判・表>	オリジナルピザをつくるために, どの野菜や食材をいくつ欲しいのかを伝えている。(行動観察・児童作品) <思・判・表>

6 本時のねらい

ALTの好みに合った野菜や果物を選ぶ活動を通して、欲しいものを伝える表現に慣れ親しむ。

7 本時の展開 (2/4)

過程	学習活動	教師の動き	研究内容に関わって
つかむ	1. Greeting ・気分, 天気, 曜日, 日付を確かめる。 2. Song and Chants ・P.27 「What do you want?」 3. Warm up ・クイズ JTE: What quiz do you <u>want</u> ? S: Well...number 1! ALT: OK! You <u>want</u> number 1! ALT: I like it. I like summer fruits. It's green. It's big. What's this? S: Well...water melon! ALT: Yes! I like water melons! It's sweet. I like sweet food.	<ul style="list-style-type: none"> ALTが進める。 正しい音や英語のリズムを聞かせながら、一緒に行く。 	研究内容 (1) やり取りを通して、特徴(味, 形など)やALTの好みと関連付けながら野菜や果物の言い方に慣れ親しめるようにする。ALTがよく食べるものや日本とはちがう言い方をするものなどを紹介し、文化についての理解を深めたい。
	4. Today's Goal へミ先生に食べてほしいものをえらぼう。 5. Activity and Sharing Time ・ALTとJTEのやり取りを見て、活動の見通しをもつ。 ・グループで欲しいものを相談したり、言い方をタブレットで練習したりする。	<ul style="list-style-type: none"> クイズを数問提示し、答えたいクイズを選ばせる。 ALTの好みが変わるクイズを出す。 wantを意図的に使う。 複数形のs(es)を使う。 	研究内容 (1) タブレットを活用し、伝えたいことを整理したり、言いたい単語などを自分たちで練習したりできるようにする。
考える	6. Challenge Time ・グループごとに教師のところへ行き、一人ずつ欲しいものを伝える。 ALT(JTE): Hello. What do you want? S: I want apples, please. ALT(JTE): OK. How many apples? S: Two apples, please. ALT(JTE): I see. Two apples. Here you are.	<ul style="list-style-type: none"> 児童が単語のみでなく「I want～」と文で言えるようにするために、「Oh, you want～」と繰り返し、気付かせていく。 学級を2つに分け、一方をJTEが、もう一方をALTが指導する。 発音やリズムが正しく言えているか見届け、適宜修正する。 活動の途中で評価の項目について価値付け、広げる。 	研究内容 (2) へミ先生に食べてほしいものを選ぶために、「〇〇が好きだから」、「これを食べてほしい」と思いをもって野菜や果物を選ぶ姿を広めたい。
	7. Good Job Time ・ALTに喜んでもらえるものが選べたこと、欲しいものを伝える表現を使えたことを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ずつに問いかける。 ALTは、自分の好みに合ったものを選んでもらえてうれしかったこと、JTEは、活動を通してより適切に伝えられるようになったことや、仲間と協働してできたことを伝える。 	研究内容 (3) 既習表現を積極的に用いて欲しいものを伝えている姿を評価する。仲間と協働して買い物ができたことを振り返り、「次はお客さんに喜んでもらえるオリジナルメニューをつくるぞ!」と意欲をもてる終末にする。
深める			研究内容 (3) 既習表現を積極的に用いて欲しいものを伝えている姿を評価する。仲間と協働して買い物ができたことを振り返り、「次はお客さんに喜んでもらえるオリジナルメニューをつくるぞ!」と意欲をもてる終末にする。
確かにする			[「話すこと[やり取り]」評価] ・ALTの好みに合わせて選べたこと ・正しい発音やリズム, 正しい英語表現で伝えられたこと ・仲間と協働して活動できたこと など (行動観察・児童作品)

